栃木県立真岡北陵高等学校 授業シラバス

開講年度 2022 年度 科目名 社会福祉基礎

1 科目概要

科目コード			教科	福	祉	単位数	2 単	单位
開設学年	年 第1学年		開設学科	生物生産科	農業機械科	食品科学科	総合ビジネス科	介護福祉科
用取字午 第1		1 +	用取子件					0
教科書(出版社) 社会福祉		畐祉基礎 (実	教出版)					
副教材(出版社) 最新		最新	- 最新・介護福祉士養成講座 1「人間の理解」(中央法規)					

2 目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うなどを通して、社会福祉の向上に必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を見に付けるようにする。
- (2) 社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

3 評価方法

学習活動状況(出席・意欲・態度等)、学習プリント・レポートの提出状況、定期試験の結果等総合的に判断して評価する。

4 授業の受け方・留意点

必要事項をノートやプリントに書き込む。積極的に演習に参加し、学んだことを記録し提出する。

5 学習計画

学期	月	章	単元・学習内容	学習のねらい
1	4	1	社会福祉の理念と意義	・進行する少子高齢化と人口減少の中で社会福祉が担う役割
			1 生活と福祉	を理解している。
				・地域社会の変化について理解し、今後の地域社会のあり方
	5			を考察している。
			2 社会福祉の理念	・時代の変化に伴うライフサイクルの変化、多様化について
				理解し、ライフステージにおける社会福祉施策との関わり を考察している。
	6			を考察している。 ・社会福祉の理念「ノーマライゼーション」を地域社会でど
				のように活用していくかを考察している。
			3 人間の尊厳と自立	・「人間の尊厳」という価値を理解し、福祉サービス利用者
	7			に対する自立支援のあり方を主体的かつ協動的に取り組んで
				いる。

2	9	2	社会福祉思想の流れと福祉 社会への展望	・諸外国(イギリス、アメリカ、スウェーデン、デンマークドイツ、フランス)の社会福祉の歴史や意義を考察し、そ
	1.0		1 外国における社会福祉	れらが我が国に与えた影響を理解している。 ・政府による救済制度や近代社会福祉における先駆者たちの
	1 0		2 日本における社会福祉	取り組みを理解するとともに、それぞれが担った意義を考察 している。
	11		3 地域福祉の進展	・諸外国や日本の社会福祉思想や歴史的経過を踏まえ、地域共 生社会を目指して自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んで いる。
	1 2	4	人間関係とコミュニケーション	・コミュニケーションの種類や関連する技術を身に付けている。
			1 人間関係の形成	・信頼関係の構築のために、援助者と被援助者との間にコミ ュニケーションが必要であることを理解している。
			2 コミュニケーションの 基礎	・受容・共感・傾聴の意味や特性を理解し、それを使用した 利用者理解の重要性を考察している。
				・自己理解と他者理解の重要性や方法を理解する。 ・個別援助技術・集団援助技術・地域援助技術それぞれの特 はの展界が用さ、理解する
			3 社会福祉援助活動の概 要	性や展開過程を理解する。 ・社会福祉援助活動の目標を達成するためのチームづくりの 必要性について主体的かつ協働的に取り組んでいる。
3	1	3	生活を支える社会保障制度	・社会保障制度の意義、役割、範囲を理解するとともに、時 代の変化に伴い、地域社会の中で求められる社会福祉のあ
	2		1 社会保障制度の意義と 役割	り方について考察している。 ・社会福祉を推進する我が国の行政体制に関して理解するとともに、それらの関連する技術を身に付けている。
	3		2 児童家庭福祉と社会福 祉サービス	・児童福祉政策の基軸である児童福祉法を地域や生活関連させて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。

福祉科「社会福祉基礎」	単位数	2 単位
	学科・学年	介護福祉科 (2年)

(1) 学習のねらい(目標) および使用教材

学習到達目標	家族あるいは地域社会が、個人とどのようにつながっているのか、私たちが参
	加する組織や集団とのかかわりを考える。現代社会における社会保障の位置
	づけと今後の課題を知る。また、高齢者や障害者が、自分らしい生活をおくる
	ために必要なさまざまな諸制度をしっかりと理解し、活用できるようにする。
使用教科書	社会福祉基礎 (実教出版)
副教材	最新・介護福祉士養成講座 2「社会の理解」(中央法規)

(2) 評価の観点および評価方法

評価の観点	関心・意欲・態度
	社会保障のしくみに関心を持ち、今後の課題について意欲的に調査研究して
	いる。
	思考・判断・表現
	社会福祉が抱える課題等について考えることができる。
	技能
	諸制度の活用について、資料などを活用し、適切な支援ができる。
	知識・理解
	社会保障しくみや様々な諸制度に関する基礎的・基本的な知識を身に付けて
	いる。
評価方法	学習活動状況(出席・意欲・態度等)、授業プリントの記入状況、定期試験の
	結果等を総合的に判断して評価する。

(3) 授業の受け方および学習方法

授業の受け方	授業プリントに必要事項や口頭での説明を書き込む。毎時間授業終了後に、授
および学習方法	業プリントを提出する。レポートや課題プリント等は、真剣に取り組み、提出
	期限を守ること。

(4) 学習計画

「1学期」

項目	学 習 の ね ら い
生活を支える社会福祉・社	・障害者の定義や障害者福祉について学ぶ。
会保障制度	・身体障害者福祉法とは何かについて学ぶ。
	・身体障害者の自立支援のための公的サービスについて学ぶ。
• 障害者福祉	・障害者雇用の取り組みについて学ぶ。
	・障害者総合支援法について理解する。
	・知的障害者の現状を理解する。
	・地域での障害者支援施設の役割を学ぶ。
	・発達障害とは何かを学び、発達障害者への支援体制について
	理解する。
	・精神障害者の定義、総数、実態並びに精神保健福祉の相談機
	関の概要について理解する。
	・障害者の就労支援のしくみについて理解する。

「2学期」

項目	学習のねらい
生活を支える社会福祉・社	・わが国の人口構成の変化や高齢化の特徴等について学ぶ。
会保障制度	・介護保険制度の創設背景と目的について理解する。
• 高齢者福祉	・介護保険制度のしくみを学び、国や自治体、各種の機関が
・生活支援のための公	果たす役割について考える。
的扶助	・介護保険制度下での専門職の役割について学ぶ。
・国民生活を支える社	・生活保護、年金、医療保険に関する制度を理解する。
会保障制度	・社会福祉制度の種類を理解する。
	・医療保険制度について理解する。

「3学期」

項目	学 習 の ね ら い
地域福祉の進展と多様な	・地域のなかで福祉活動を実践している非営利組織について知識を深め
社会的支援制度	る。
・地域福祉の進展と地	・福祉のまちづくりに関する地方自治体の取り組みについて理
域の将来	解する。
・多様な社会的支援制	・地域医療の仕組みについて理解する。
度	・「教育を受ける権利」の本質を理解する。
・社会福祉の将来と福	・成年後見制度、日常生活自立支援事業のしくみについて理解
祉の担い手	する。
	・自助・公助・共助の枠組みとわが国の社会福祉制度について
	理解する。
	・福祉、介護の仕事、資格について理解する。